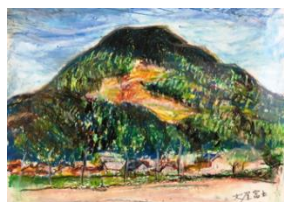


我ら大屋モンド 日本一光り輝く学校



大屋富士

伸びよ 豊かに たくましく

令和4年3月24日
養父市立大屋中学校
学校だより第16号
TEL 079-669-0111

3年生卒業する



根雪だったグラウンドの雪はすべて解け、少し肌寒かったです。春の日差しが差し込む中、第50回大屋中学校卒業式が3月9日（水）に挙行されました。

本年度も残念なことです。1，2年生、来賓の出席は叶わず、卒業生と卒業生の保護者の皆さん、送辞を読む在校生代表の三方響さん、本校職員、教育委員会代表 齋藤恭子様に参加で行いました。



卒業生代表桶谷彩さん答辞

春の匂いが漂うこの佳き日、私たち二十三名は、この大屋中学校を巣立っていきます。

三年前、これから始まる中学校生活に期待と不安を抱きながら、私たちは大屋中学校に入学してきました。初めは、中学生とは名ばかりで、中身はまだ小学生という感じでした。分からないことはいっぱいで、でも、それが新鮮で、

毎日が楽しかったのを覚えています。…中略…（すみません。）

秋も終わりに近づいたころ、二度の延期を経て、ようやく、修学旅行が実施できることになりました。東京方面ではなく、滋賀・奈良・三重という行程でしたが、大屋では見ることのできない歴史的建造物や景観を堪能することができました。教科書に載っている国宝を間近で見たときは、胸が高鳴りました。また、三重の環境学習センターでは、フードロスの削減のために自分たちには何ができるのか考え、今後も課題としました。ナガシマスパーランドでは、アトラクションを楽しんだり、買い物をしたりしました。コロナ禍に入ってから、友だちや家族と遠出する機会が減多にない中学校生活だったので、学校以外の場所でみんなと思い切り楽しい時間を過ごすことができたのは、かけがえのない思い出です。

振り返ってみると、本当に充実した三年間でした。私たちの三年間を、学習や部活動、さまざまな場面で指導し、支えてくださった先生方、大変お世話になりました。先生方

の温かい言葉に何度も救われました。これまで得たたくさんの教を胸に、これからも自信を持って歩み続けようと

思います。素敵な三年間をありがとうございました。

在校生の皆さんに伝えたいことは、私たちの後を受け継いでほしいということです。そしてもう一つ、「あなたは一人じゃない」ということを忘れないでほしいです。大屋中学校の仲間は、楽しい時に一緒に笑い、苦しい時には共に涙を流し、悩みがあると一緒に考えてくれます。くじけそうな時、負けそうな時は、そばにいる仲間を頼ってください。

そして最後に、お父さん、お母さん、家族の皆さん。日頃は照れくさくて面と向かっては言えませんが、今日まで育ててくださり、心から感謝しています。何かと心配をかけたか不安にさせたりしたと思いますが、今日という節目を機に、少しは自分でできることを増やしていこうと思っています。だから、新しい生活を築いていく私たちを、これまで通り温かく見守っててください。

私たちは、ほとんどが共に過ごしてきて十年以上となります。これまで、苦楽を共にし、成長してきました。この三年間は、コロナ禍で、いろんな我慢をしてきました。今までの中学生とは違った三年間だったのかもしれませんが、でも、いつもそばにいてくれた二十二人の仲間たち、本当にありがとう。何気ない日常に心から感謝したいです。

明日からここに登校しないという実感がまだ沸きません。でも、春風が私たちの次なるステージへと手招きをしています。混沌とした時代を、確実に、力強くあゆんでいく覚悟です。ありがとう、大屋中学校。

さようなら、大屋中学校の皆さん。

皆さまの健康とご多幸をお祈りし、母校となる大屋中学校がますます発展することを祈念いたしまして、答辞といたします。

令和四年三月九日

卒業生代表

桶谷 彩

すべてを掲載できませんでした。すみません。気持ちのこもった素晴らしい答辞でした。三方響さんが読んだ送辞も、素晴らしくこれから進級して最上級生になって、どのように活躍してくれるのか楽しみになりました。

1年間ありがとうございました



令和3年度が3月24日（木）に修了式を迎えます。この1年間コロナ禍で、制約をたくさん受ける中、学習活動、学校行事、部活動と生徒の取組の様子を見ていると、本当によく活躍していたと感心しております。この生徒の活躍は、保護者の皆様を初め、地域の皆様のお支えがあったからこそ大変感謝しております。次年度も、職員一同、生徒の健やかな成長とよりよい大屋中学校づくりのため、一生懸命取り組んでまいります。何卒、本校教育の推進につきまして、一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

大屋中学校 職員一同